



みてたんせ

〒019-0508 横手市十文字町十五野新田字増田道東19番地

☎ 0182-23-6777・FAX 0182-42-2165



2025年 新春を迎えて

三重地区交流センター
センター長 高橋 信雄

新年あけましておめでとうございます。

三重地区の皆様には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、平素より三重地区交流センターの運営、各事業等にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、10月1日には、横手市長をはじめ多数のご臨席のもと、旧十文字第二小学校で三重地区交流センター開館式が盛大に挙行されました。また同月26日には、初めての試みであった三重地区交流センター祭りを開催致しました。沢山の方々にお出でいただき盛大に行うことができました。これも偏に、三重地区の皆様のご協力があったからこそと心から感謝申し上げます。

さて、三重地区交流センターは3年目を迎え地域の要となり、今後様々な活動の拠点にしていかなければなりません。少子高齢化が益々進み、空き家対策や集落の維持など様々な問題がありますが、三重地区の住民が穏やかな暮らしを送れるように「自助・共助・公助」が必要不可欠になってまいります。地域の「絆づくり」を交流センターを拠点に皆様方のご協力とご指導を賜り進めてまいりたいと思います。

本年も円滑な事業の推進のため引き続きご協力をお願い申し上げますと共に、三重地区の皆様にとって最良の1年となりますよう、ご多幸とご健勝をご祈念致しまして新年の挨拶と致します。



～ 季節ごよみ 「小正月行事」 ～

小正月と言えば、当地ではかまくらやどんど焼きがなじみ深いです。一般的に小正月とは1月1日を中心とした正月行事「大正月」に対し1月15日に行われる行事のことを言うそうです。かつて日本では、月の満ち欠けを1か月の基準として暮らしており、満月となる旧暦の1月15日にあたる日を「1年の始まり」である正月として祝っていたそうです。これは昔の日本人が、満月をめでたいものだと考えていたことに由来するそうです。また、小正月の伝統的な食べ物には小豆粥やぜんざいなどがあり、小豆のように赤い色の食べ物は邪気を払うと考えられていた中国の古い風習に由来し、厄払いや無病息災を願って食べられてきたそうです。(参考：じゃらんニュース)



三重地区交流センター運営協議会 安心安全部事業

「防災について学ぶ会」を開催しました！ 令和6年12月15日



今回も横手市社会福祉協議会職員の御協力のもと57名が参加し防災研修を開催しました。身近な災害についての講話と、災害対応シミュレーションゲームに防災ビンゴゲーム、仮想バケツリレーと充実した内容で、楽しみながら学べる有意義な時間でした。参加者からも好評で、今後の継続への要望の声が多く聞かれ、防災に対する意識の高さがうかがえました。



●防災用品の簡易トイレ、仕切りテント
ダンボールベッドが展示されました。



バケツリレーの様子



災害対応シミュレーションゲームの様子



あけましておめでとうございます。
皆様には昨年中は色々とお世話になりました。
今年もどうぞよろしくお願いいたします。
穏やかな年末年始でしたが、まだまだ寒い日が続くと思いますので、どうぞご自愛くださいませ。
皆様にとって、お幸せな1年でありますように！
(事務局)

